

白啓館だより

令和7年9月 No.242

Homepage address

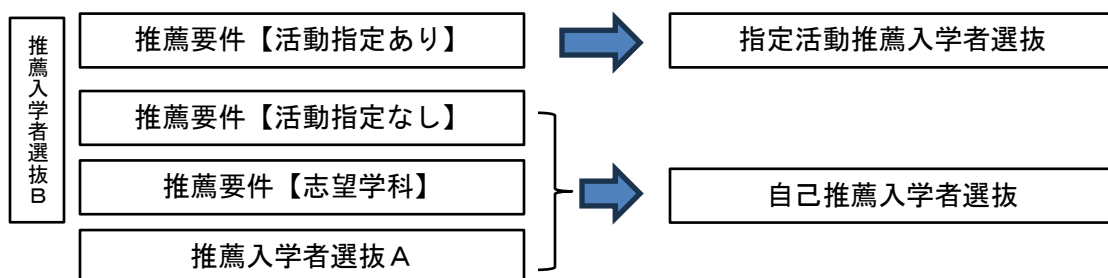
<http://www.jikeikan.com>

前号に引き続き、大分県教育委員会が7月10日、「通学区域制度検証委員会」の答申を踏まえて、今後の高校入試について検討した内容についてお知らせします。

令和9年度入試（現中学2年生対象）から自己推薦入学者選抜の導入することを発表しました。これまでもあった推薦入学者選抜に加え、自己推薦入学者選抜を導入し、併用するとのことです。

令和8年度高等学校入学者選抜に係る推薦入学者選抜

令和9年度高等学校入学者選抜



（実施概要）

- ・指定活動推薦入学者選抜・・・高校ごとに指定するスポーツ活動、文化活動において成果を収めた者等で、中学校長からの推薦を受けた者。
- ・自己推薦入学者選抜・・・学校ごとに定めた出願要件を満たす者。中学校長からの推薦を必要としない。
- ・指定活動推薦入学者選抜は、学校ごとに実施の有無を判断する。自己推薦入学者選抜は、全ての学校及び学科にて実施する。

（選抜の資料等）

指定活動推薦入学者選抜

- 中学校長の推薦を必要とする。
- 実施の有無は高校の判断
- 選抜の資料(案)
調査書、推薦書、小論文、面接等

自己推薦入学者選抜

- 中学校長の推薦は必要としない。
- 全ての高校・全ての学科で実施。
- 選抜の資料(案)
(必須) 調査書、志望理由書
(学校ごとに選択して実施)
学力検査、小論文、適性検査
実技検査、面接等

これまで、分かりにくかった推薦入試の基準をより明確にそして透明化していく方針のようです。既に令和8年度の推薦入学者選抜の詳細については、高校ごとにその詳細が教育委員会のホームページに掲載されています。例えば舞鶴高校では、調査書、面接、小論文の評価の比重が具体的に数値化されています。スポーツ推薦といっても、調査書によって3年間の全教科が評価されますので、定期テストや提出物など疎かにはできません。